

# 資料編

## 目 次

新潟県森林・林業基本戦略検討委員会の検討経過	1
新潟県森林・林業基本戦略中間振り返り検討の検討経過	4
森林・林業のデータ、用語解説	
資料 1 新潟県の森林面積等	6
資料 2 新潟県の木材生産額の推移	7
資料 3 森林の公益的機能と多面的機能	8
資料 4 木造住宅における部材の名称	9
資料 5 森林資源の循環利用とSDGsとの関係	10

# 新潟県森林・林業基本戦略検討委員会の検討経過

## 1 新潟県森林・林業基本戦略検討委員会

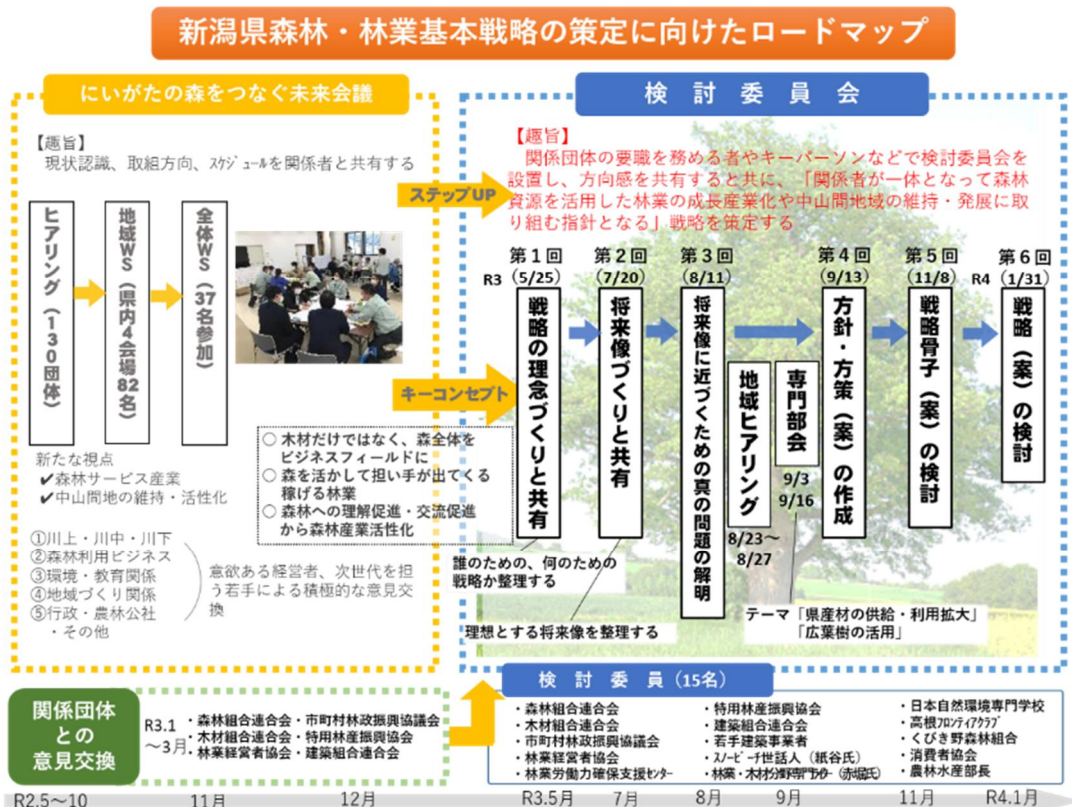
### (1) 設置の趣旨

森林・林業の関係者や地域づくり、教育などの団体を委員とする検討委員会を設置し、目指す姿や目標など方向感を共有し、基本戦略を検討する。

### (2) 検討委員会の開催経過

会議	開催日	内容
第1回検討委員会	令和3年5月25日	戦略策定の理念づくり
第2回検討委員会	令和3年7月20日	将来像づくり
第3回検討委員会	令和3年8月11日	真の問題の解明
針葉樹専門部会	令和3年9月3日	県産材利用拡大に向けた課題と方策の検討
第4回検討委員会	令和3年9月13日	方針と方策の検討
広葉樹専門部会	令和3年9月16日	県産広葉樹の利用拡大に向けた課題と方策の検討
第5回検討委員会	令和3年11月8日	骨子（案）の検討
第6回検討委員会	令和4年1月31日	戦略（案）の検討

### (3) 戦略策定に向けたロードマップ



(4) 検討委員名簿 (15名 順不同・敬称略)

団体等	委員	備考
新潟県森林組合連合会	代表理事専務 おだ みのる 小田 稔	
新潟県木材組合連合会	副会長 おおた まさあき 太田 正昭	
新潟県市町村林政振興協議会	会長 よねだ とおる 米田 徹	
新潟県林業経営者協会	会長 しょうじひでのり 東海林秀禮	
新潟県林業労働力確保支援センター (新潟県農林公社)	所長 たかはし たかし 高橋 喬	
新潟県特用林産振興協会	理事 ひらい まさなお 平井 正尚	
新潟県建築組合連合会	会長 ふじもと たけお 藤本 武雄	
住学 (県産材振興部)	いからし なおき 五十嵐直樹	
スノービーチ／新潟大学	世話人／名誉教授 かみたに ともひこ 紙谷 智彦	座長
林業・木材分野専門ライター	あかほり くすお 赤堀 楠雄	
日本自然環境専門学校	学校長 いからし みのる 五十嵐 実	
高根フロンティアクラブ	会長 すずき のぶゆき 鈴木 信之	
くびき野森林組合	主任技師 なしもと まさこ 梨本 雅子	
NPO 法人新潟県消費者協会	常任理事 やまざき かずみ 山崎 和美	
新潟県農林水産部	部長 おぼた ひろゆき 小幡 浩之	

## (5) 設置要綱

### 新潟県森林・林業基本戦略検討委員会設置要綱

令和3年5月17日制定

#### 第1 設置

森林資源を活用した林業の成長産業化や中山間地域の維持・発展に取り組むため、新潟県森林・林業基本戦略検討委員会（以下「委員会」という。）を設置し、行政及び関係機関・団体が一体となった具体的な展開方向の共有を図る。

#### 第2 検討事項

委員会は、次の事項を検討する。

- (1) 森林・林業基本戦略の策定に係る事項
- (2) その他必要な事項

#### 第3 構成

委員会は、知事が主宰し、知事が指名する者で構成する。

#### 第4 座長

委員会には座長を置き、委員の互選によって定める。

#### 第5 委員会の開催

委員会は、必要に応じて知事が招集する。

#### 第6 委員会の進行

委員会の進行は、農林水産部林政課長が当たる。

#### 第7 庶務

委員会の庶務は、農林水産部林政課において処理する。

#### 第8 補則

この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、別に定める。

#### 附則

本要綱は、令和3年5月17日から施行する。

## 新潟県森林・林業基本戦略中間振り返り検討の検討経過

### 1 新潟県森林・林業基本戦略中間振り返り検討

#### (1) 開催の趣旨

令和7年度、本戦略は折り返し地点を迎えたことから、これまでの取組を評価し、今後の施策に反映する。

#### (2) 開催経過

中間振り返りについては、テーマ別に掘り下げた議論と、地域に応じた施策検討を行った上で、全体の議論となるよう、4方針に係るテーマ別分科会、上・中・下越毎の流域別検討会、全体を総括する中間振り返り検討会により実施した。

##### ① テーマ別分科会

業界関係者を集め、これまでの取組の評価や、本質的な課題、今後の取組方向をテーマ別に検討

方針	開催日	検討委員
1：森林資源の利用拡大	令和7年6月2日	森林組合、製材工場、建築士、 森林・林業教育実践者 等 <span style="float: right;">計 21名</span>
2：つなぐプロジェクト	令和7年6月2日	
3：担い手の確保・育成	令和7年6月3日	
4：県民理解の促進	令和7年7月8日	

##### ② 流域別検討会

分科会で得られた取組方向を検討材料に、川上・中・下の関係者から、上越、中越、下越・佐渡の3会場において、地域に応じた取組課題等を検討

流域	開催日	参加者
上越（上越、糸魚川地域振興局管内）	令和7年7月16日	森林組合、森林所有者、製材工場、 建築士、森林・林業教育実践者、 市町村 等 <span style="float: right;">計 122名</span>
中越（長岡、南魚沼地域振興局管内）	令和7年7月18日	
下越（村上、新潟、佐渡地域振興局管内）	令和7年7月24日	

##### ③ 中間振り返り検討会

分科会、流域別検討会の意見を踏まえ、全県における今後の取組方向を検討（令和7年8月28日開催）

中間振返り検討会 検討委員名簿（15名 順不同・敬称略）

団体等	委員	備考
新潟県森林組合連合会	代表理事専務 おだ みのる 小田 稔	
新潟県木材組合連合会	副会長 おおた まさあき 太田 正昭	
新潟県林業経営者協会	副会長 ほしの ひろのり 星野 宏典	
新潟県林業労働力確保支援センター (新潟県農林公社)	所 長 なかの あきひと 中野 昭人	
新潟県特用林産振興協会	理 事 ひらい まさなお 平井 正尚	
新潟県建築組合連合会	青年層委員会委員長 うめだ ゆうき 梅田 裕基	
スノービーチ／新潟大学	世話人／名誉教授 かみたに ともひこ 紙谷 智彦	座長
くびき野森林組合	部 長 なしもと まさこ 梨本 雅子	
住学（(株) サトウ工務店）	代表取締役 さとう たかし 佐藤 高志	
カネか渡辺建材株式会社	部長代理 さがら しゅん 相良 瞬	
（株）坂詰製材所	顧 問 きりゆう とおる 桐生 透	
吉井木材工業（株）	代表取締役 みずの まさはる 水野 雅晴	
地域林政アドバイザー	村上市アドバイザー ほんま いくお 本間 郁朗	
NPO お山の森の木の学校	代表世話人 あかし ひろみ 明石 浩見	
新潟県農林水産部	部 長 かんべ まこと 神部 淳	

## 資料 1 新潟県の森林面積等

新潟県は、県土の約7割に広大な森林が広がっており、そのうち約2割を占める人工林（図1）は約8割が利用期に達し（図2）、木材資源が充実してきています。また、かつての薪炭林などからなる広葉樹主体の天然林は、全国でも有数の面積であり、豊かな資源を有しています（表）。

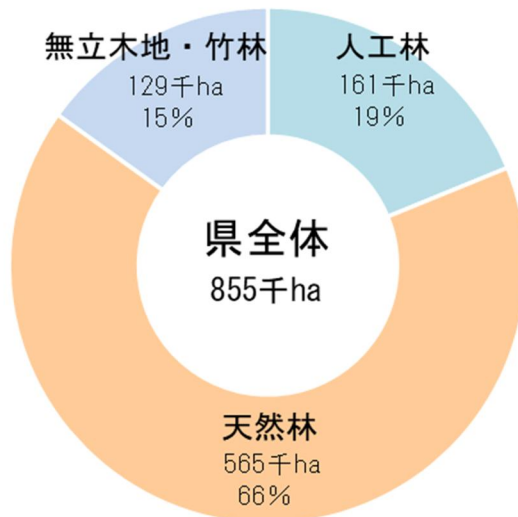


図1 新潟県の森林面積の内訳

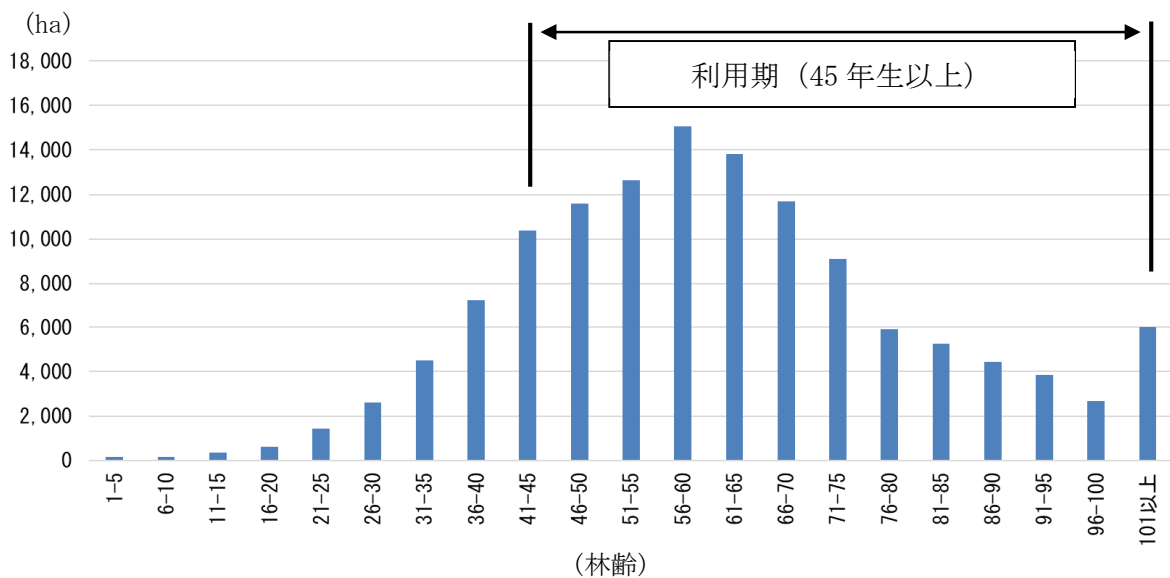


図2 人工林の林齢別の面積

表 都道府県別森林面積における新潟県の位置

(単位：千 ha)

都道府県	総数	人工林	天然林	無立木地	竹林
1 北海道	5,536	1,456	3,762	317	-
2 岩手	1,169	482	624	63	0
3 長野	1,067	443	558	65	1
4 福島	972	336	587	48	1
5 岐阜	861	384	428	48	1
6 新潟	855	161	565	127	2
7 秋田	839	407	406	27	0
8 山形	669	185	441	44	0
9 青森	633	263	341	29	-
10 広島	612	201	396	12	2

出典：林野庁「令和6年度森林・林業白書」

## 資料2 新潟県の木材生産額の推移

木材価格の低迷（図3）をはじめとした林業を取り巻く状況の悪化によって林業生産活動が低下し、平成元年度に約64億円あった木材生産額が、平成30年度までの30年間で約6分の1の約11億円まで減少しました（図4）。その後、木材生産量の増加に伴い、木材生産額は約14億円まで回復しました。

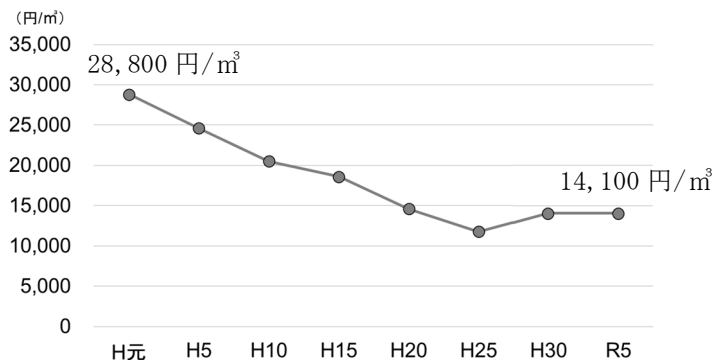


図3 新潟県の木材（丸太）価格の推移

出典：農林水産省統計部「木材価格」



図4 新潟県の木材生産額と木材生産量の推移

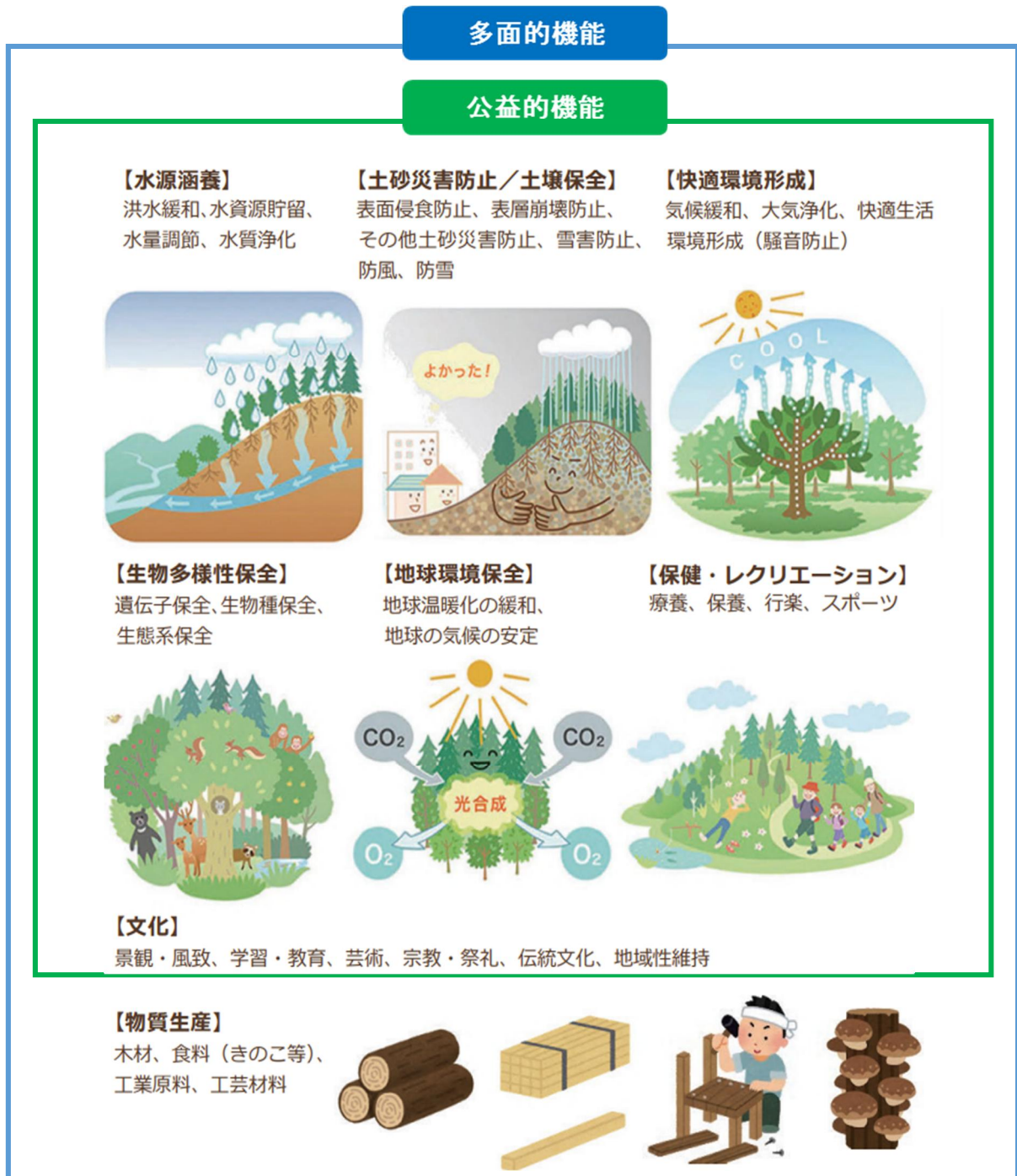
出典：農林水産省統計部「林業産出額」、「木材統計」

※木材生産額及び木材生産量は、製材用、合板等用材、木材チップ用とし、燃料用等は含まない。

### 資料3 森林の公益的機能と多面的機能

森林は、水源かん養、山地災害防止、二酸化炭素の吸収・固定など、様々な「公益的機能」の発揮を通じて県民生活に多大な恩恵をもたらしています。

また、こうした公益的機能に加え、木材生産等の経済的機能も有しており、これらを合わせたものが、「多面的機能」と呼ばれています。

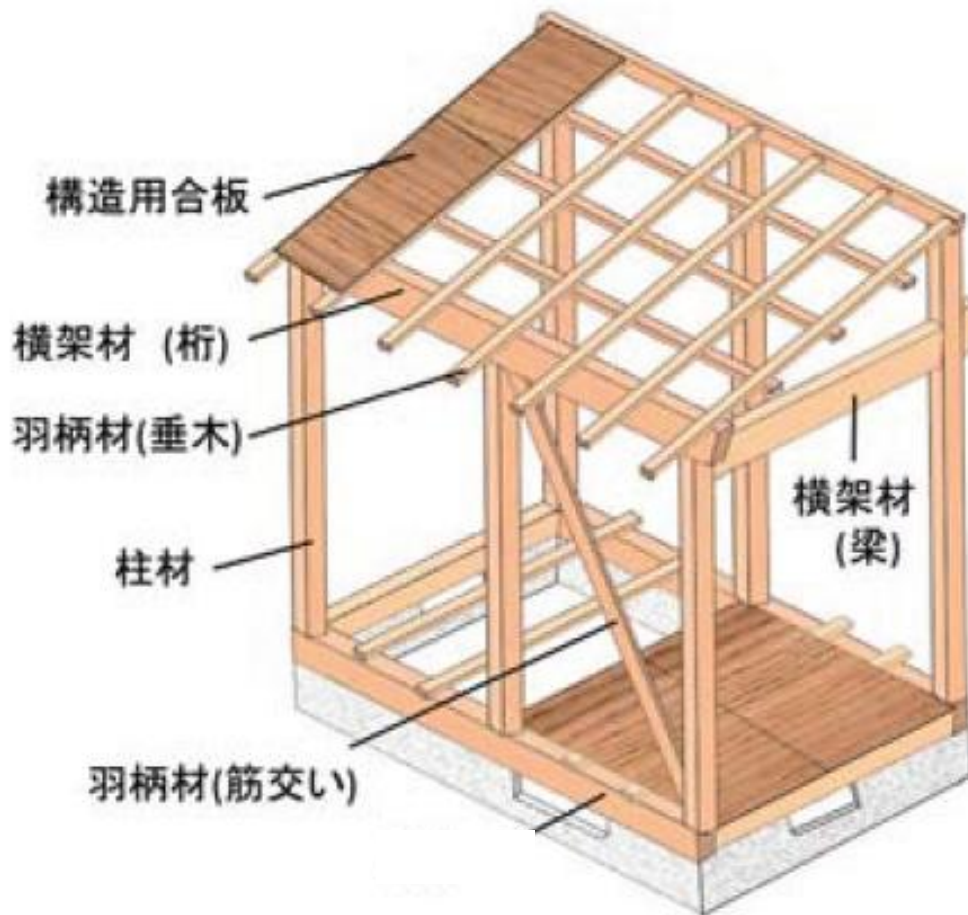


出典：東京都「森づくり推進プラン」

## 資料4 木造住宅における部材の名称

木造住宅などにおいて、県産材は、柱材や横架材など様々な部材に使われています。

例【在来工法（木造軸組工法）】



出典：林野庁「平成 27 年度森林・林業白書」

### 【柱材】

建築物の構造部を支える、垂直な部材

### 【横架材】

梁や桁、土台などの水平方向にかけられる部材

### 【羽柄材】

主に垂木（屋根材）、や板類などの造作に用いられる材の総称で、柱材や横架材などの構造材以外の部材

## 資料5 森林資源の循環利用とSDGsとの関係

SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称であり、2015年9月に開かれた国連サミットにおいて決められた、2030年までに持続可能でよりよい世界を実現するための国際社会共通の目標です。

SDGsは17の目標で構成されており、森林・林業はこのうち14の目標達成に寄与すると考えられています。



注1：アイコンの下の文言は、我が国の森林の循環利用との関わりにおいて期待される主な効果等を記載したものであり、各ゴールの解説ではない。  
 2：このほか、ゴール1は森林に依存する人々の極度の貧困の撲滅、ゴール10は森林を利用する権利の保障、ゴール16は持続可能な森林経営を実施するためのガバナンスの枠組みの促進等に関連する。  
 3：これからの様々な取組により、ここに記載していない効果も含め、更にSDGsへの寄与が広がることが期待される。

出典：林野庁「令和元年度森林・林業白書」